様式第１号（第１０条関係）

2024年度業務実績報告書

提出日　2025　年　1　月　16　日

１．職名・氏名　教授　山口理恵子

２．学位　修士、専門分野　人間科学、授与機関　西南学院大学、授与年月　2007年3月

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 権利擁護を支える法制度（2単位）社会福祉学科・経済学科3年次、経営学科2年次以上
②内容・ねらい　（自由記述） 日常生活自立支援事業、苦情解決制度をはじめとする社会福祉の対象者の権利擁護支援を行うための制度に関する知識を獲得する。成年後見制度を中心に民法、行政法、憲法と社会福祉各法の関係についてについて社会福祉士として実践で要求されるレベルまでの知識を獲得する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 相談援助と法律の関係を可視化するため、ドキュメンタリー等の視覚教材を使用している。映像はポイントとなる場面で一旦停止し、解説を入れる等、法律との結びつきを示し、飽きないよう工夫を行っている。またビデオ教材はオンデマンドでGCから配信し繰り返し視聴することを可能にすることで理解が深まるよう工夫している。プリントやパワーポイントの教材もGCにUPし欠席学生のためのフォローを行った。特に重要な箇所についてはＧＣを駆使し授業の振り返りになる質問を出題している。学生の質問に対しては、本人の同意を得て全体にフィードバックすることで復習となるよう工夫し、全体のモチベーションの向上につなげた。極地大雨警報が出された際はハイブリットによる授業に切り替え柔軟に対応した。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 社会保障・社会福祉概説（2単位）看護学科1年次
②内容・ねらい　（自由記述） 社会福祉・社会保障に関する制度や法律、行政の仕組み・取り組みを理解し、日々の看護活動に活かせるように学習する。社会福祉の機能、歴史とともに社会保障の目的や対象・制度・サービスについて説明できる。看護職と連携して仕事を行うソーシャルワーカーの活動の概要を理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 1年生に苦手意識を持たず社会保障制度の理解を促すために、頻回に事例を使用している。また副教材として図解・グラフを多く使用することで視覚からの理解を促すよう心掛けた。開始時に前回の復習としてクイズ方式の出題をすることで国家試験のイメージやポイントを掴めるよう工夫している。必須科目であるが、5限連続の5限目という時間割にも配慮し、休憩になるような息抜きの話題も取り入れている。
①現代福祉問題論（2単位）社会福祉学科1年次オムニバス 「判断能力が不十分な人々の地域生活を考える」を担当
②内容・ねらい　（自由記述） 新入生にとって全体像がまだわからない社会福祉学科における学習内容、とりわけ、２年次以降に学ぶ内容にかかわる話題を、学科のさまざまな科目の担当者の視点から、１回ごとに完結する形態で紹介する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 自由意思と契約、福祉サービス利用契約の特質について判断能力の不十分な人々はどのような脆弱性を孕むか、それに対する支援を行う際パターナリズムの危険性はどこに潜むかについて事例を用い説明している。1年生で５限目であることに配慮し実際はかなりかみ砕いたクイズにする形で雑談も取り入れながら解説している。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
社会福祉演習（2 単位）3 年次

②内容・ねらい　（自由記述）
　実習での経験や外部講師による後見実務の説明を踏まえ、事例等を用いながら利用者の権利を擁護し意思決定を支援するための制度及びそれを駆使するソーシャルワークの方法に対する考察を深めていく。ケースに応じ権利擁護に係わる制度と関係他機関を連携させる能力を養う。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
　前期は講義科目「権利擁護を支える法制度」の知識を踏まえ、成年後見人が意思決定支援に係わる場面に対し「意思決定支援を踏まえた後見事務のガイドライン」をふまえ事例を用い、ディスカッションを行った。後期は、実習経験等をふまえ卒業研究を視野に入れ実習で抱いた疑問・興味を中心に自分の関心分野に関するプレゼンテーション、意見交換を行った。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
権利擁護特論（２単位）大学院１年次

②内容・ねらい　（自由記述）
　社会福祉において要請される個別・多様性と法制度において不可避である画一・類型性、この相反する両者を如何にして調整し調和を図るべきかという視点を中心に議論を深め、自らの問題意識及び研究テーマに関連させつつ、権利擁護に関する議論を展開する力を得る。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
　受講生は社会人であり、制度に対する把握度が毎年異なるため、柔軟に内容を変更している。まずは実践の場で生じている問題や判例から興味や関心となる話題をピックアップし、自らの経験にも照らし合わせられるようにしている。最終的にはそれぞれが作成する修士論文にこの授業で学ぶ視点が反映されるよう研究テーマに合わせた個別対応も行っている。本年度は判断能力が不十分な人々の身元保証・身元引受に関わる問題に焦点を当て、この問題を実務として取り組む 2 名の外部講師を招き当該授業を受講生以外にも公開する形で実施した。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
権利擁護演習（２単位）大学院２年次

②内容・ねらい　（自由記述）
　修士論文指導

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
　履修生の居住地や就業状況に配慮し、オンラインと対面の双方を活用しながら進めている。

(2)その他の教育活動

①　愛知教育大学非常勤講師（権利擁護と成年後見制度、２年次、２単位）
②福井県立大学「社会福祉士国家試験対策講座　権利擁護と成年後見制度」（2020 年度よりオンライン）福井県社会福祉士会との共同開催であり 2016 年の着任時から継続して「権利擁護と成年後見制度」を担当している。毎年のアンケート結果を踏まえ次年度の授業内容を改善している。

４．研究業績

(1)研究業績の公表
①著書 （タイトル、共著者の有無（共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ）、出版年、出版社名）
② 論文（査読あり）
③その他論文（査読なし） （予定）成年後見制度における苦情対応と体制整備の方向、企業年金（1,2 月合併号）企業年金連合会、2025 年 1 月
④学会報告等 （タイトル、報告学会（大会）名（開催年月日）、共同報告者の有無（共同報告の場合は主たる担当箇所） 「介護の社会化」荒木誠之『生活保障法理の展開』金沢大学人間環境学研究科社会保障法ゼミ研究会発表 （2024 年 4 月 19 日） 「現代社会保障法学の論点１」金沢大学人間環境学研究科社会保障法ゼミ研究会（コメント） （2024 年 5 月 7 日） 「現代社会保障法学の論点２」金沢大学人間環境学研究科社会保障法ゼミ研究会（コメント） （2024 年 7 月 1 日） 「現代社会保障法学の論点３」金沢大学人間環境学研究科社会保障法ゼミ研究会（コメント） （2024 年 12 月 24 日）
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
【学外】科学研究費補助金基盤研究（C）「社会福祉サービスのシステムを生かした成年後見人の質の向上に関する研究」2022年4月～2026年3月予定（助成額）4,160,000円、代表研究者
【学内】福井県立大学 KF 枠研究費 地域共生社会における成年後見制度の在り方に関する研究 ～成年後見制度利用支援事業の適切な実施にむけて～ 202年46月～2025年5月 （助成額）240,500円、代表研究者
(3)特許等取得
(4)学会活動等
学会での役職など （学会名）
(5)特許出願

５．地域・社会貢献

(1)学外団体
①　国・地方公共団体等の委員会・審議会　（それぞれの名称、業務内容、担当期間） ・福井県薬剤師会倫理審査委員（2024 年 7 月～現在） ・福井県成年後見制度利用促進ネットワーク協議会議長（2023 年 3 月～現在） ・坂井市地域共生社会推進会議委員 （2021 年 12 月～現在） ・ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン（事務局福井市）成年後見制度利用促進事業運営委員長 （2020 年 4 月～現在） ・坂井市福祉保健総合計画策定委員会委員　（成年後見制度利用促進基本計画策定部会長） （2020 年 4 月～現在） ・坂井市中核機関委員会（現：坂井市成年後見制度地域連携ネットワーク協議会）委員 （2019 年 4 月～現在） ・坂井市法人後見運営委員会委員長（2018 年 4 月～現在） ・大野市社会福祉協議会法人後見立ち上げ準備委員　（2018 年 4 月～現在） ・福井県社会福祉協議会地域福祉推進研究会　オブザーバー（2018 年 4 月～現在） ・福井県社会福祉協議会福井県高齢者・障害者日常生活自立支援センター 契約締結審査会委員 （2017 年 4 月～現在） ・福井県立病院倫理審査委員会委員（2017 年 4 月～現在）
②　国・地方公共団体等の調査受託等　（それぞれの名称、業務内容、活動期間）
③（公益性の強い）NPO･NGO 法人への参加　（それぞれの名称と活動内容、活動期間） ・NPO 法人シビルブレイン（大阪）理事：専門職を中心とする後見受任及び市民後見人 育成・法人後見推進他、成年後見制度全般に係る調査研究（2014 年 5 月～現在）
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動　（企業名、活動内容、活動期間）
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 （事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間）
⑥公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開講（タイトル名、開催場所、 開催日時）
⑦その他　（名称、活動場所、活動期間） ・坂井市成年後見制度地域連携ネットワーク協議会「成年後見制度をめぐる最新動向、第二期成年後見制度利用促進基本計画における受任者調整」2024 年 1 月 20 日予定
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①　公開講座・オープンカレッジの開講　（タイトル名、開催場所、開催日時）
②社会人・高校生向けの講座　（タイトル名、開催場所、開催日時） 高校訪問　看護福祉学部の概要説明 武生高校（2024 年　7 月　11 日）
③その他　（名称、活動場所、活動期間）
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）
（活動内容、主たる活動場所、活動期間）
・NPO 法人抱樸（福岡市、北九州、下関市）　「希望のまちプロジェクト」に対する募金活動、

６．大学運営への参画

⑴役職（副学長、部局長、学科長）
（職名、期間）
⑵委員会・チーム活動
（名称、期間） ・看護福祉学部研究活性化ワーキングチーム（2020 年 12 月～現在） ・学生支援委員会委員（2022 年 4 月～現在）
⑶学内行事への参加
（行事名、参加日時） ・大学院ワークショップ、2023 年 5 月 ・国家試験対策講座「権利擁護と成年後見制度」福井県立大学（オンライン開催）、2024 年 12 月 5 日 ・大学院研究セミナー2024 年 11 月 2 日 ・大学院中間発表会、2024 年 11 月 7 日
⑷その他、自発的活動など
（活動名、活動内容、活動期間）